令和７年度黒部市子ども・子育て会議
議　事　要　旨

■日時・場所

日時：令和７年８月 29 日（金）13：30～14：45

会場：黒部市役所　２階 203 会議室

■出席者

谷島委員（会長）（黒部市自治振興会連絡協議会）
藤澤委員（副会長）（黒部市民生委員児童委員協議会長）
松木委員（保護者代表）
米原委員（黒部市民間保育連盟）
澤木委員（黒部市保育研究会長）
廣田委員（さくら幼稚園長）
森下委員（公募委員）
篠﨑委員（公募委員）
小倉委員（教育部長）
福澤委員（市民福祉部長）

関係課　　教育委員会事務局次長・学校教育課　桐課長

事務局　　こども支援課　高野課長、長島主幹、山口主幹、新保課長補佐、
小野江係長、古幡係長、佐渡係長

■次第

１　開会
２　協議
（１）子ども・子育て会議の概要について　【資料１】
（２）第２期黒部市子ども・子育て支援事業計画における
令和６年度事業実績について　【資料２】
（３）黒部市子どもの貧困支援体制整備計画における
子どもの貧困に関する指標と実績について　【資料３】
（４）下立保育所の休所の検討について　【資料４】
（５）令和８年度保育所等の定員について　【資料５】
（６）こども誰でも通園制度について　【資料６】
（７）黒部市こども計画の策定について　【資料７】
３　その他
４　閉会

■議事要旨

１　開会

２　協議

（１）子ども・子育て会議の概要について

事務局より資料１により説明

―　質疑なし　―

（２）第２期黒部市子ども・子育て支援事業計画における令和６年度事業実績について

事務局より資料２により説明

（３）黒部市子どもの貧困支援体制整備計画における子どもの貧困に関する指標と実績について

事務局より資料３により説明

＜質疑応答・意見＞

（委員Ａ）　放課後等デイサービス事業者の数は現在、足りているのか。

（事務局）　昨年度、市内で１事業者が増加している。
しかし、利用ニーズに対しては市内に限らず、新川圏域全体として弱い部分がある。代替機能としては、放課後児童クラブが受け皿となっており、障がいのある方の受入れについて研修等を充実させることで支援に努めている。
現状では週２日程度の利用が目一杯ではないかと言われている。

（委員Ａ）　人材不足等もあり、新規参入は難しいと思うが、共働きの家族が多いと思うのでニーズも出てくると思う。

（４）下立保育所の休所の検討について

事務局より資料４により説明

（５）令和８年度保育所等の定員について

事務局より資料５により説明

＜質疑応答・意見＞

（委員Ａ）　今後、もっと子どもの数が少なくなることが予想される。
黒部市は保育所の統合について考えはあるか。

（事務局）　現時点では下立保育所を除いて統合や休所については考えていない。

―　下立保育所の休所について、事務局案のとおり承認　―
―　令和８年度保育所等の利用定員について、事務局案のとおり承認　―

（６）こども誰でも通園制度について

事務局より資料６、追加資料により説明

＜質疑応答・意見＞

（会　長）　こども誰でも通園制度のニーズ、問い合わせは実際あるのか。

（事務局）　現状において問い合わせはない。今後、調査していく。

（会　長）　近隣自治体において先行して実施しているところはあるのか。

（事務局）　県内では今年４月から高岡市が実施している。
国の主導で全国 150 の自治体で実施しており、規模としては様々であるので、黒部市において同規模・社会的条件に合うような自治体を参考にし、ニーズ量等を算定していきたい。

（会　長）　市として人を呼び込むような施策を実施し、黒部は住みやすいところだと実感してもらうよう進めてほしい。
人口減少を危惧しており、市全体で知恵を出してほしい。子どもたちをしっかり育てる環境を作ってほしい。

（事務局）　ニーズを捉えて、子育てしやすい黒部市を目指し、制度は似通っているが特色をしっかり出していきたい。
移住施策を実施している担当課とも連携を図っていきたい。

（７）黒部市こども計画の策定について

事務局より資料７により説明

＜質疑応答・意見＞

（委員Ａ）　こども計画の策定は非常にいいことだと思う。
柔軟な発想と施策を取り入れてほしいし、必要だと思う。魅力的な計画になればいいと思う。

（事務局）　ご意見のとおり、子どもの目線を取り入れた計画を策定していきたい。

３　その他

・委員任期満了に伴う改選（今年度末）

・次回会議（令和８年８月）を予定

４　閉会